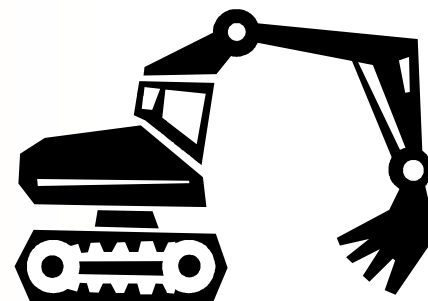


民主党政権の大きな過ち

今年も余すところ20日程になりましたが、私たち建設関連産業で働く者にとって良い年ではありませんでした。

約10年前から公共工事の削減により仕事量は半分以下になり、業界全体で右肩下がりの業績が続いています。今夏、政権が変わったことで来年は更に大幅悪化する見通しです。

公共事業関係の国交省予算は前年比、実質17%以上も削減され、またそれに加えて地方自治体も大きく削減する可能性が高く、関係者は恐れおののいています。



私は基本的に政治に興味を持ちませんが、手当てを一律にばら撒いたり6,000億円以上使って高速道路をタダにして、利用しない者からも間接的に負担を強いたりするのはおかしいと思います。

経済成長政策なしで小手先の人気取りだけでは国民は希望が持てません。

今、必要なのは将来に対する明るいビジョンです。前政権が良かったと言っている訳ではありませんが、今の政権は前政権を完全否定して、彼らが決めたことを破壊しているだけで、本当に国民の将来のことを考えた政策を行っているとは思えません。



来年の参議院選挙までにマニフェスト実行率を上げようと、削減目標額から逆算した事業仕分けで、国民や関係者の意見すら無視して突っ走っているのです。政治家の目的は政権を取ることなのでしょうか。取った後は永く維持することなのでしょうか。前政権には皆うんざりしていましたが、これでは国民の反感を買うばかりです。

特に地方切捨ては明言していて、地域間格差もやむを得ないと言っていますが、地方のインフラ整備が足りていない現状や、地方では公共事業が雇用や地域経済に与える影響がいかに大きいかが分かっていないとしか思えません。

また「コンクリートから人へ」と言っていますが、私たち公共工事に携わる者を一律に悪者扱いしているとしたか聞こえません。このような暴言が許されるのでしょうか。先月も言いましたが、地震や災害の多い日本ではインフラ整備は弛みなく行なわなければ、そのツケが非常に高いものになるということが分かっていないのです。

建設業、建設コンサルタントまた、私どものような資材メーカーなど「公共工事」に関係した会社に就職を希望する若者はずっと減っていますが、現在働いている人でも転職希望者が少なくない現状です。

工事や物を作る技術が急激に失われようとしているのです。このような技術はもう本当に必要なくなったのでしょうか。





会計検査Q & A

今月も、『公共工事と会計検査』の改訂7版より「会計検査こぼれ話」をご紹介します。一息ついて読んでいただければ幸いです(^-^)/

著者の市川 啓次郎 (いちかわ けいじろう)氏 は 昭和 19 年生まれ。元会計検査院 国土交通統括検査室長を務め、現在は財団法人経済調査会の技術顧問としてご活躍中です。

会計検査こぼれ話 : 受検庁「前向き度」

検査対象機関のトップの人が会計検査をどのように受け止めているかが、その組織全体の会検対応に大きく影響します。特に民営化された組織などではそれが顕著です。「株式会社になり監査法人の監査を受けているのに、まだ会計検査を受けなければならないのか？いい加減に会計検査対象からはずして欲しい」と、幹部が会検受検に懐疑的見解を公言していた某社の場合などは、組織全体が検査に非協力的で、検査で何か問題があっても、まともに答えない、資料は出さないで調査官は大変な苦勞を強いられるとの話をよく聞きます。



それと対照的な団体もあります。かつて、トップの人が「折角、ただで会計検査をしてくれて色々問題点を指摘してもらえるのだから積極的に対応するように」と、社員に訓示したそうです。トップの意向がこのように会検受検に前向きであれば、検査はスムーズに進みます。確かにこの団体は前者と違って、毎年少なからぬ指摘が検査報告に掲記されていますが、トップが交代してもそうしたDNAが引き継がれているからなのでしょう。

こうしてみれば、検査報告＝悪ではないことがわかってもらえるのですが、多くの団体では、検査報告に掲記されることに対する抵抗が強いのが実情です。指摘＝無駄遣いとして、マスコミや国会でたたかれ、責任を追及されることを恐れます。毎年、検査報告が公表されると、マスコミは、「無駄遣いワースト10」などを発表します。そのため、何とかワースト10に入ることを避けるため指摘金額に非常にナーバスになる団体もあります。

会計検査で、調査官はさまざまな角度から検査して、こうすれば公的支出を節約できると色々指摘を行うのですが、そうした指摘を否定的にとらえる組織と前向きに受け止め、積極的に対応する組織があります。残念ながら前者が多いのが実情。どちらが、結果として国民のためになっているかは自明です。会計検査院も一度、こうした受検団体の「前向き度」を国民の前に公表したらいかがでしょう。



レオちゃんの製品紹介コーナー

◆◆◆◆ 外フラット式マス ◆◆◆◆

こんにちは。ライオン通信のレオちゃんです。

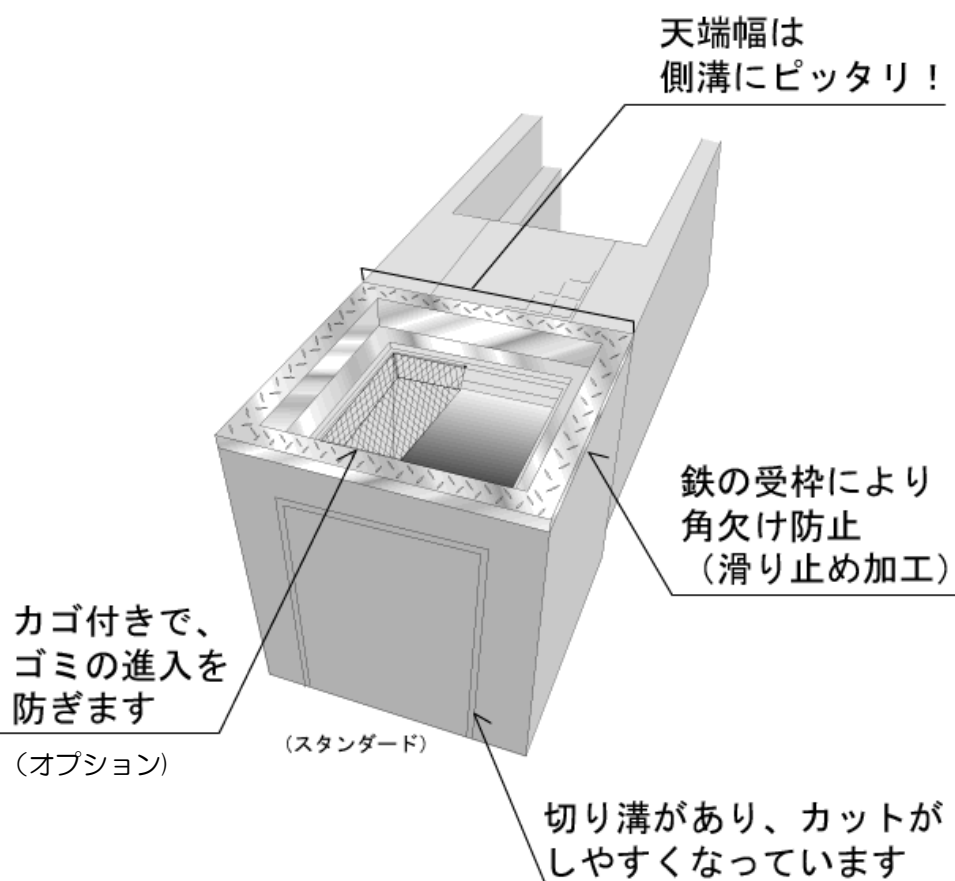
今回は、『外フラット式マス』をご紹介します。

マスは「泥溜め」や「水路の交差点」として使用されていますが、昨今の型枠大工さんの不足により現場打ちでマスを作るのが困難なものになってきています。

そこで、とても優れた特徴を多く併せ持つ『外フラット式マス』をご紹介します。

弊社では各側溝（JIS側溝・U型側溝・可変側溝）の総幅に合わせた「HDマス」「PUマス」の2種類を取り揃えております！

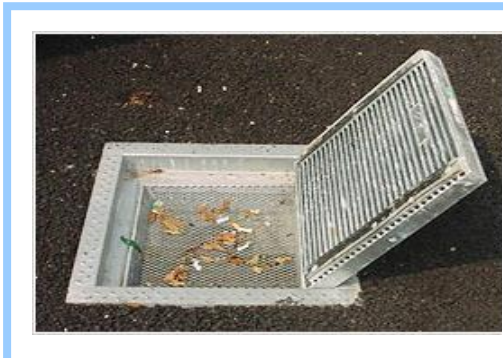
新こだわりの
外フラット式マス



こんなにスッキリ！！

各種側溝などの総幅と同じ規格があり、側溝と柵の施工幅が一緒になるので、柵だけの張り出しがなくすっきりとした施工が出来ます。

また柵の張り出し部に出来やすかった段差もなくなるので、安全で歩行者にも優しい施工が可能です！

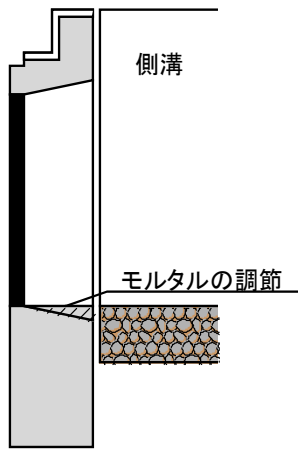


オプションで柵内部に簡単にゴミカゴを取り付けることができ、ゴミを側溝内に落としません！！



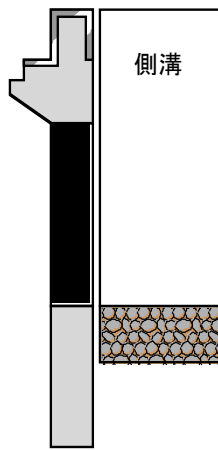
鉄の受枠の上部には滑り止め加工が施されており、安全性にも優れています。

今までのマス



接続後に隙間、段差が出来るのでモルタルによるすりあわせ調節が必要です。

外フラット式マス

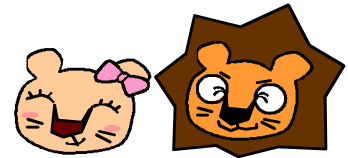


接続後に隙間、段差が出来ずモルタルの調節が不要です。

外側がフラットになっているので側溝の取り付けが容易です。

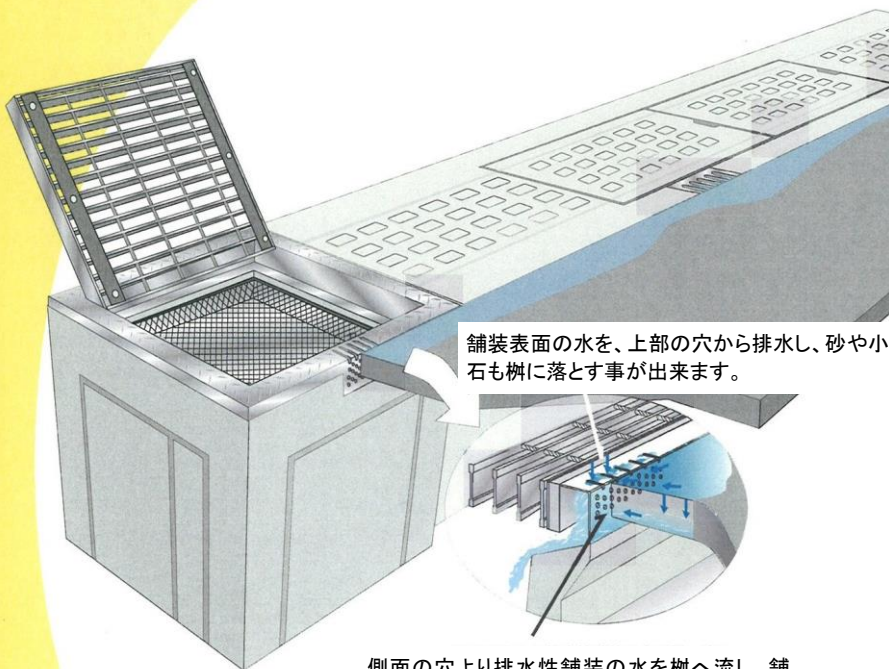
型枠工の不足を解消するとともに、現場打ちに比べ大幅な工期短縮ができます！

型枠の廃材もなく地球にも優しいね！



当社自慢の 排水ドレン付タイプもごさいます！

従来の柵が排水性舗装と水たまりに対応しました。



舗装表面の水を、上部の穴から排水し、砂や小石も柵に落とす事が出来ます。

側面の穴より排水性舗装の水を柵へ流し、舗装の沈下による水たまりの水も排水します。

いかがでしたでしょうか？
このように、外フラット式マスはたくさんの優れた工夫を持っています。
人手不足の解消はもちろん、施工する人にも、通行する人にも優しい製品です。

ぜひ
ご検討ください♪



◆ 製品に関するお問い合わせ☆資料請求は

直通電話: **0858-73-0500** までお気軽にどうぞ！

FAX : **0858-73-0535** E-mail : info@kooge.jp

◆ ◆ ◆ 編集後記 ◆ ◆ ◆

鳥取地区では1年前に県に上げていただいた生コンの積算価格が、12月から5,000円/m³程下がり元の状態に戻りました。これも私たち組合員の力不足が原因だと反省していますが、来年が勝負の年になると思います。

不安な気持ちが非常に強いのですが、来年こそは良い年になるよう頑張っていきます。

皆様のおかげで小紙は1月から7年目に入ります。これもひとえに皆様のおかげです。厚くお礼申し上げます。そして来年もよろしくお願いいたします。

皆様もどうぞ良いお年をお迎えください。

(山根)

年末年始休業のお知らせ

弊社の年末年始休業日程は、下記の通りとさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

平成21年12月29日(火)
～ 平成22年1月5日(火)

◆ 1月6日(水)より平常営業いたします。
来年も良い年でありますように！



<URL><http://www.kooge.jp/>

<e-mail>info@kooge.jp